

平成20年度予算編成方針

能美市財務規則（平成17年2月1日規則第32号）第7条の規定により、
予算編成方針を次のとおり定める。

平成19年10月4日

総務部長

1 社会経済情勢

- ・ 景気は、企業部門、家計部門のバランスのとれた回復が継続
- ・ 国では2011年度までの基礎的財政収支黒字化を踏まえた歳出改革路線の堅持・強化
- ・ 地方財政は、借入金残高の累増と三位一体改革に続く新たな地方分権改革に伴う負担の増

2 本市の現状と課題

【現状】

- ・ 税源移譲、定率減税廃止、景気回復に伴う市税の増収
- ・ 地方特例交付金の減額や地方交付税の抜本的改革に伴う譲与税、交付税総額の減収（一般財源全体としては、横ばい）
- ・ 過去の大型事業関連市債償還がピークであった昨年度と同額の水準
- ・ 実質公債費比率が13.1%となり、前年度（9.2%）から悪化
- ・ いわゆる財務4表を見据えた財政健全化の維持が必要
- ・ 現行制度による各種の行政サービス維持や施設の維持管理費の増加
- ・ 社会保障関係（国保会計、介護保険会計）、下水道事業会計などへの繰出金が大幅増
- ・ 中学校改築、東西幹線道路、都市計画事業など大型継続事業への多額の投資



【最重要課題】

- ・ 少子高齢化対策
- ・ 教育の充実
- ・ 地域活性化対策、循環型社会の構築
- ・ 社会資本の整備充実



【対策】

- ・ 人口減少社会においても持続可能な簡素で効率的な行財政システムの構築
- ・ 漫然と従来を踏襲するのではなく、既存公共施設の統合・廃止など抜本的改革

- ・ 総合計画の具現化のため、時代の潮流を見極めたソフト施策を部局で知恵を絞りながら予算要求

3 予算編成方針

- ・ 『能美市行政改革大綱』並びに『能美市集中改革プラン』に盛られた数値目標等を着実に実行
- ・ 9月定例会市議会における市長の閉会挨拶の主旨に沿うこと
- ・ 予算要求は、経常経費、政策経費に区分
- ・ 主要事業については、本年7月の市長事業ヒアリングの結果を踏まえて予算要求
- ・ 当初予算は、通年型で編成
- ・ 補正予算は、制度改正、災害関連経費などやむを得ないもの、又は、当初予算編成の中で協議したもの以外は行わない
- ・ 予算要求に合わせて別途様式により、本年7月にヒアリングを実施した「中・長期事業計画書」改定版を提出
- ・ 特別な理由により当初予算に計上することが困難なものについては、その見込額等を別途様式「当初予算に要求できない事業調書」により提出

4 その他

- ・ 予算編成要領については、別途通知